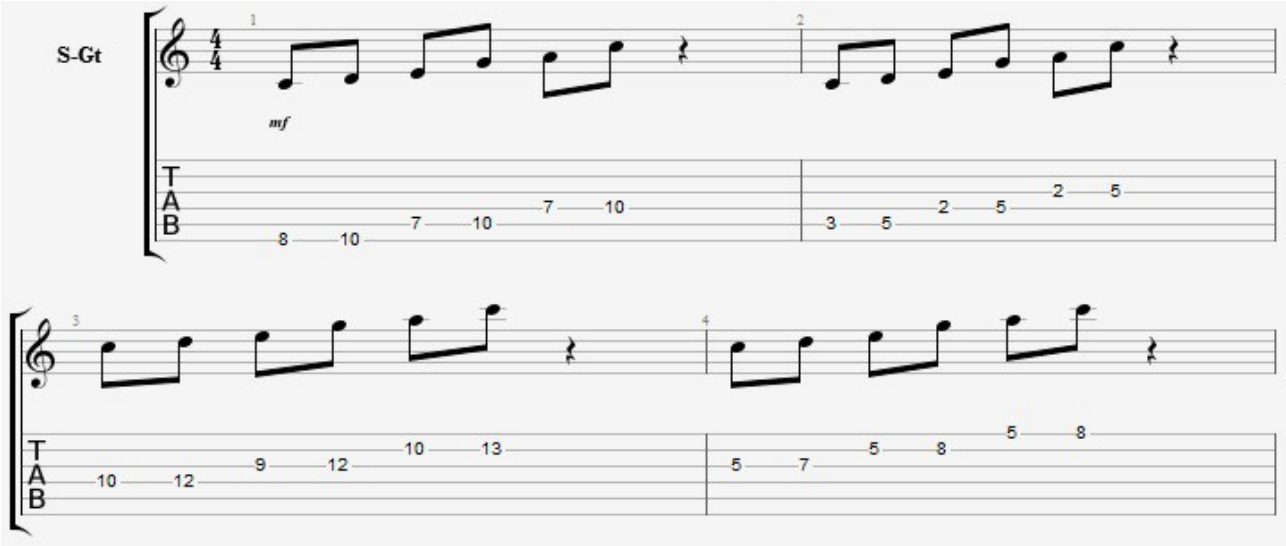
Vol.03　メジャースケールから音を抜いてみる

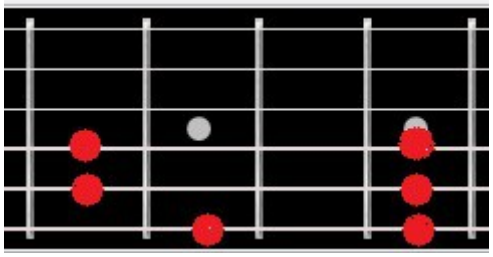
それでは、vol.03、始めていきましょう。

今回は、vol.01 で弾いた、メジャースケールの 1 オクターブのブロックから音を抜いたものを弾いて行きます。

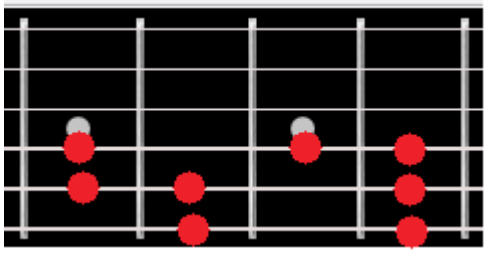
譜例



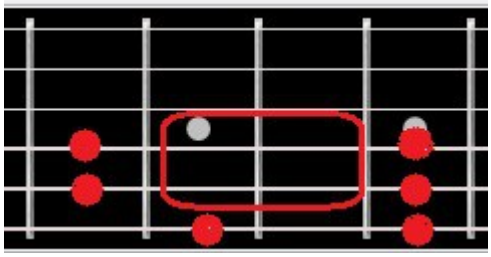
指板上に見える形としてはこの様なものですね。



vol.01 で弾いたものと比べると、中の音が抜けています。

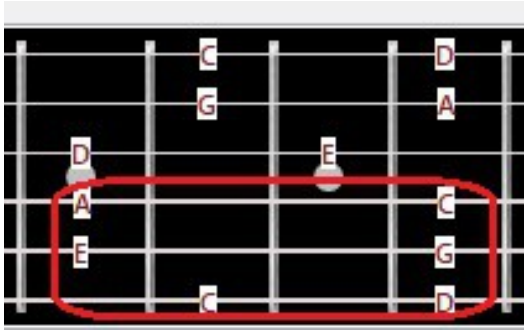


Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

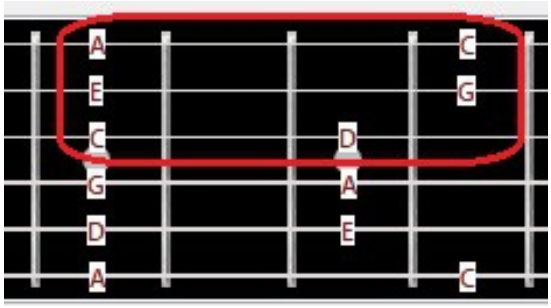


気付いた人もいるかもしれませんが、今回のフレーズは、実質的にはペンタトニックスケールです。

馴染みのあるポジションで言えば、ここや、



この辺りが、形の一致が分かりやすいですね。



今回弾いているものを、仮にメジャーペンタとして見るならば、vol.01 のメジャースケールからは、P4th と M7th が抜けていることになります。

この、

『7 音構成であるメジャースケールから、4 度と 7 度が抜けて、
5 音のメジャーペンタになっている』

と言う事が重要で、ここがわかっていると、後々、他のスケールを覚えたり使ったりする時に、ものすごく役に立ちます。

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved

詳しくはその時に解説しますが、今は単純に、これら 2 種類のスケールの、7 音→5 音(もしくは逆も)のポジション(ブロック)内の音の変化を掴んでおきましょう。

では、また次回。

ありがとうございました。

大沼

Copyright (C) 2016 shunichi onuma All Rights Reserved